One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド

（成長型／隔月決算・予想分配金提示型／毎月決算・予想分配金提示型）

追加型投信／内外／株式

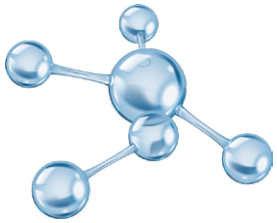
NISA 成長投資枠
※成長型および隔月決算・予想分配金提示型が対象

※販売会社によっては、一部ファンドのみのお取扱いとなります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
＊One／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（成長型／隔月決算・予想分配金提示型／毎月決算・予想分配金提示型）（以下、各ファンドという場合があります。）の実質的な運用は、フィデリティ・インベスメンツの一員であるFIAM LLCが行います。当資料において特段の記載がない限り、フィデリティはフィデリティ・インベスメンツを指します。

変化する医薬品業界と投資機会

－ 特許切れやAI創薬の進展を背景とした業界変化に着目 －

医薬品業界において今後は大型医薬品の特許切れが相次ぐ見込みです。
また、創薬分野では、ゲノム解析の低コスト化やAIによるたんぱく質構造予測の進歩を背景に、新薬開発に必要な時間やコストの低減が進んでいます。
こうした技術革新と事業環境の変化は、
医薬品業界の競争環境や企業戦略に影響を及ぼす可能性があります。

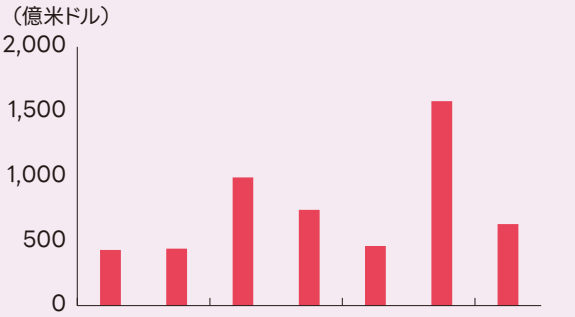


✦ 大型医薬品の特許切れがもたらす変化

2026年から2032年にかけて、売上高にして数百億米ドル規模の大型医薬品が特許保護期間を終える見込みです。特許切れ後は後発医薬品との競争が激化し、収益への影響が懸念される一方、有望な新薬候補や技術を持つ企業への投資や買収が活発化する可能性があり、豊富な資金力を有する大手製薬企業は、研究開発力や製品群の強化を目的として、パイプライン拡充に向けた取り組みを進めていくことが想定されます。

このような環境下では、企業そのものだけでなく、開発中の医薬品や対象疾患、市場規模などを含めた多角的な分析が重要となります。

特許切れとなる薬の売上高予測の推移



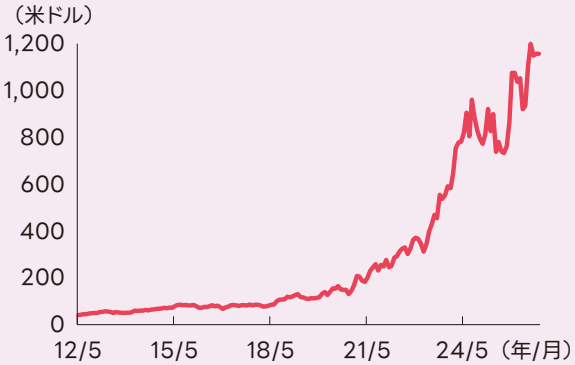
出典：Evaluate Pharma

✦ 医薬品分野における投資機会の発掘

フィデリティでは、医学・生命科学分野の知見を有するアナリストを含むグローバルな調査体制を活用しながら、企業の競争力や研究開発動向、開発パイプラインなどを継続的に分析しています。

各ファンドの主要投資対象である「フィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド」（適格機関投資家専用）（以下「ブルーチップ・グロース・ファンド」という場合があります。）では、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス関連銘柄を42銘柄（組入銘柄数244）保有しています（2026年8月末時点）。組入上位銘柄であるイーライリリーは、糖尿病や肥満症向け治療薬を手掛ける企業であり、継続的な企業調査を通じて捉えた医薬品分野への投資機会の一例です。今後も多様な専門知識を有するアナリストによる企業調査を通じて、幅広い投資機会の発掘に取り組んでいきます。

イーライリリーの株価推移



※＜上図＞期間：2026年～2032年（年次）、各年の数値は、その年に特許満了を迎える予定の医薬品の世界売上高合計（Evaluate Pharmaによる2026年時点の予測値）を示しています。＜下図＞期間：2012年5月末（投資開始月）～2026年9月末（月次）
※上記は個別銘柄の売買を推奨するものではありません。また、今後も当該銘柄の組入れまたは保有の継続を示唆・保証するものではありません。
出所：フィデリティ投信、ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、運用方針は作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

ファンドの投資リスク(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

各ファンドの基準価額の変動要因には、**「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」、「特定の投資信託証券に投資するリスク」**などがあります。

各ファンドの基準価額は、株式市場の変動、為替変動、組入有価証券の発行者にかかる信用状況の変化、市場規模や取引量等により十分な流動性の下で取引を行えない場合、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化、各ファンドが実質的に組入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙等により影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

収益分配金に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)の収益分配金に関する留意事項をご覧ください。

各ファンドには、大口の換金請求に関する制限、購入・換金申込不可日等購入又は換金に係る制限やお客さまの不利益となる事項があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の該当箇所をご覧ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

ご購入時	購入時手数料		購入価額に**3.3%(税抜3.0%)**を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。 ※くわしくは販売会社にお問い合わせください。
	スイッチング手数料		スイッチング時の購入価額に**3.3%(税抜3.0%)**を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかります。くわしくは販売会社にお問い合わせください。
ご換金時	換金時手数料		**ありません。**
	信託財産留保額		**ありません。**
保有期間中 (信託財産から間接的にご負担いただきます。)	運用管理費用 (信託報酬)	各ファンド	ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.078%(税抜0.98%)
		投資対象とする国内籍私募投資信託	ブルーチップファンド* の純資産総額に対して年率0.649%(税抜0.59%)
		実質的な負担	各ファンドの日々の純資産総額に対して**年率1.727%(税抜1.57%)(概算)** ※上記は各ファンドが投資対象とするブルーチップファンドを高位に組入れた状態を想定しています。
	その他の費用・手数料		組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※投資対象とするブルーチップファンドにおいては、上記以外にもその他の費用・手数料等が別途かかる場合があります。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

*ブルーチップファンドは、各ファンドが投資対象とするフィデリティ・ブルーチップ・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)を指します。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

投資信託ご購入の注意

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。●お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●各ファンドは、実質的に株式等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。●投資信託は1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

照会先　アセットマネジメントOne株式会社
●コールセンター **0120-104-694** [受付時間:営業日の午前9時～午後5時]
●ホームページアドレス https://www.am-one.co.jp/

お申込みにあたっては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■ 設定・運用は

アセットマネジメントOne

商 号 等:アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第324号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会